

平成 20 年度山形市生活福祉課

山形市地域自立支援協議会
「福祉的就労のモデルづくり」分科会

事業ビジョン・コンセプト&アクションプラン

(目標展開検討報告書&重点課題実行計画書・作業工程表)

= テーマ =

“ 利用者がやりがいを持って仕事のできる法人になるために

事業理念 / 事業企画 / 実行計画を作る “

2009年3月2日

(有)SKソリューションズ

黒沼 貞志

Contents

はじめに

目標展開検討報告書

重点課題実行計画書 & 同作業工程表
(個別テーマ計画書、同作業工程表を含む)

はじめに

本報告は山形市生活福祉課の委嘱により山形市地域自立支援協議会「福祉的就労のモデルづくり」分科会の中で実践的研修・ワークショップ(WS)として実施された「目標展開手法」演習の一つの成果であり、ワークショップ(WS)で設定したテーマについて参加者による協働作業により実施したブレインストーミングから始まる目標展開作業・ビジョン・コンセプト作成、重点課題抽出、実施のための実行計画書、作業工程表を網羅するアクションプランの策定までを纏めています。

この協働WSを通じて策定されたアクションプランが真の事業モデルになるか、絵に描いた餅になるかは参加した関係者一人一人の個々の課題における今後の実行如何に掛かっていると言えます。実行を通して発生する新たな諸課題・問題も今回の協働作業を通じて体得した手法・スキルを試す機会と捉え、繰り返し使うことにより自らの身についたスキルになるものと確信しております。

日々の生活・仕事・その他の領域にて常に

「好奇心」「アンテナの高さ」「アンテナの感度」

を武器にチャレンジし、その上で、

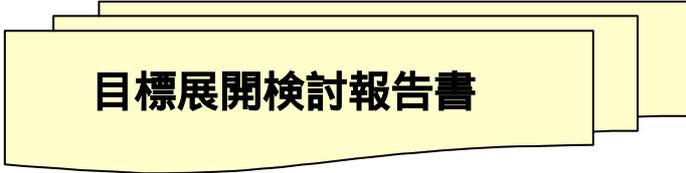
【 決断力 】

【 スピード 】そして

【 コラボレーション(協働) 】を！！！！

目標展開検討報告書

平成 20 年度
山形市地域自立支援協議会
「福祉的就労のモデルづくり」分科会



目標展開検討報告書

< テーマ >

“ 利用者が”やりがい”を持って仕事のできる法人になるために
事業理念 / 事業企画 / 実行計画を作る “

平成21年1月21日
(有)SKソリューションズ

1. はじめに

本検討報告書は、山形市生活福祉課が管掌する山形市地域自立支援協議会の「福祉的就労のモデルづくり」分科会の検討課題実現のために実施した協働ワークショップの成果です。設定したテーマのビジョン・コンセプト作成、重点課題抽出とその実行に必要なアクションプラン策定のために、以下に述べる目的(効果)の下で実施した目標展開について取り纏めています。

- (1) 事業の目標の確認及び明確化ができる
- (2) 目標達成のための手段の見落としをなくす(階層構造としての把握)
- (3) 団体、関係者と支援者のコンセンサスを得る
- (4) 重点課題の定量的抽出および共通認識が可能(『重みづけ手法』による)
- (5) 重点課題の担当化と実施計画書(アクションプラン)が作成される
- (6) 業務のプロセスが見え且つ残る【アカウントビリティ(説明責任、透明性)の確保】

2. 検討方法

本検討は以下のステップで関係者の協働作業の下で実施されています。

ステップ1: ブレーンストーミングおよびラベル作成(複数回: 2時間30分)

< 参加者(敬称略) >

杉浦、佐藤、奥山、高橋、丹野、加藤、黒沼、オプザ-バ-(社協・高村)

ステップ2: 目標展開作業&PCデータ化(まとめ)

< 講師が実施 >

ステップ3: 目標展開図(模造紙・記入ラベル&PCデータ)の発表&重点課題の定量的抽出

< 参加者(敬称略): ステップ1のグループ参加者 >

ステップ4: 重み付け点数表の整理(集計結果と重点項目の抽出) & 検討報告書取り纏め

< 講師が実施 >

3. 検討結果

(1) ブレーンストーミング及び目標展開作業

ブレーンストーミングを開始するにあたり、最上位の目標(レベル-0)を

**“ 利用者が“やりがい”を持って仕事のできる法人になるために
事業理念/事業企画/実行計画を作る ”**

と設定し、参加者の自由な且つ広範囲にわたる意見を出してもらってその発言内容のラベルへの記入を実施した。

それらのラベルを使って講師が【目標展開手法】に沿って最上位の目標の実現のための手段を階層別に展開する作業を実施した。

(2) 目標展開図(模造紙・記入ラベルおよびPCデータ)の発表

講師が作成した模造紙・記入ラベルおよびPCデータの両資料を使って目標展開図を発表して参加者の理解を得た(PCデータは添付1に示している)。

ここで、作成された各ラベルは階層構造(レベル-0からレベル-5まで)に展開されているが、概ねレベル-1はレベル-0の実現のための手段であり、且つレベル-2に対する目標になっている。順次、この考え方で階層構造として捉えられている。

(3) 重点課題の定量的抽出

重み付けにあたっては目標展開図の全てのラベルに注目し、また、各人の書いた(発言した)ラベルや各人の関わる活動にとらわれることのないように重み付け作業要領を再度説明して点数記入(別紙点数記入票使用)を実施した。

その結果から、関係者の重み付けによる絞込みの内容は添付2に示す様に基本的にレベル - 1の順位を尊重しながらレベル - 2以降の選定がなされている。

順次下位のレベルへ展開する際には上位が選ばれた項目の下位レベルについて原則最高点のものが選定されている。

絞込み作業に際し、講師の裁量にて追加した項目もあるが、それは朱書して識別出来るように配慮した。

この点数集計表で選定されたものについては原則レベル - 4まで(一部は5まで)を点数集計サマリーとして添付3に整理した。

なお、以下の(4)に纏めた最上位の目標に対する「コンセプト及び重点課題」は**関係者の総意**として整理された点数集計サマリーから**自動的に(恣意的操作なしで)**作成されている。

(4) 目標展開図の内容を基に関係者が実施した重み付け作業の結果、即ち、点数集計サマリーから見てくる本テーマのコンセプト及び重点課題は次のようになります。

(a) 「2つの事業所間の及び各事業所内の役務分掌の整理と文書化」を行って『法人及び事業所の業務分掌の明確化』進めく利用者の方の人間関係にある程度把握して、仕事の効率も良くなるよう配慮する> ことや<作業の内容を多様化し、それぞれ合った作業があれば> という要望に配慮して「利用者の適応能力に合わせた作業/業務の整理」を図った上で『作業分析を通じて作業の分類と多様化を検討する』という【組織や事業の遂行体制の確立】を実現する。

(b) < 家族の環境の理解を深めて通所の継続維持を検討 > して「通所人数アップにつながる事業の検討」に展開したり< ボランティアの力を活用しながら収益をあげる方法(布ぞうり教室など)も効果がある > という視点から「日々の消費につながるものづくり(食品)が継続し易い」というような『新事業の創出』に注力する一方、< NPO向けの講習会等を利用しスタッフのスキルアップを計る > ことや< 県・市町村の各種支援講座の活用 > を通じて「スタッフのスキルアップ:(出来ることと出来ないことがあるが...) 割合簡単に覚えられるものなら努力する」ことで『スタッフのスキルアップと人材の充実』を図りながら「広報ツール(法人・事業の紹介資料)の整備」などに代表される『営業力の向上』を進めることにより【自立・継続のための経営体質の改善】を図る。

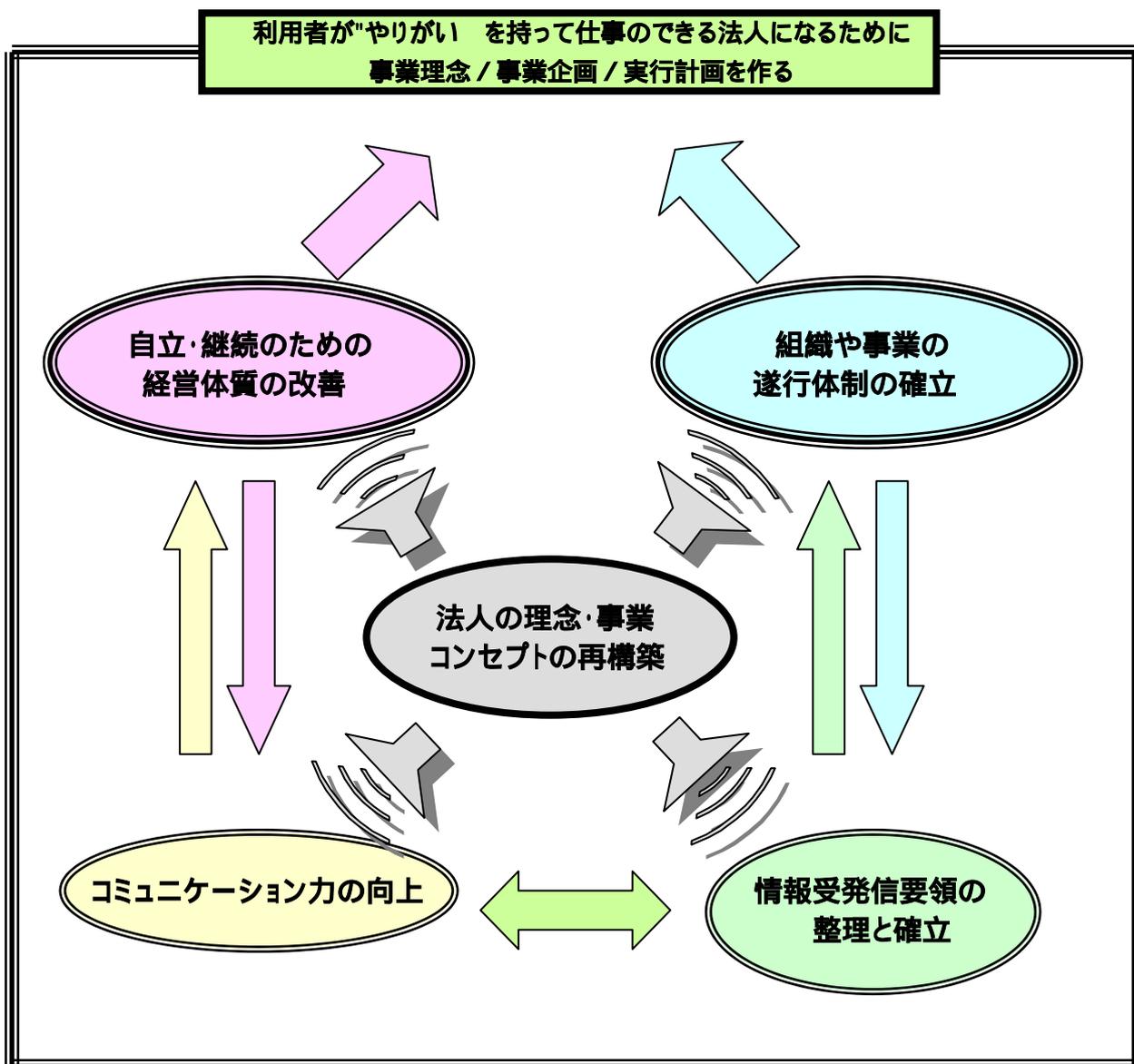
(c) “販売活動があると社会との接点がありやりがいにつながる”という理由から<ものづくりのみでなく販売・営業活動もやりがいにつながる> という例のように「通所者が継続につながらない理由はまちまちなのでそれを整理すべきでは」という声を傾聴して「会員の現状把握:人数/通所回数/個性 リスト化」を進めることで『“やりがい”の分析と創出』を実現する一方、『スタッフ、会員&通所者の関係を含めた理念の再確認』を実施して【法人の理念・事業コンセプトの再構築】を目指す。

(d) < 他の事業所ともネットワークが持てれば様々な情報が入ってくる > という観点から「様々な人たちとのコミュニケーションが必要! :各事業所のスタッフ間 理事の間 メンバーの間 それ

ら相互のコミュニケーション」と言う声に耳を傾けて、まずは『NPO未知内部のコミュニケーション』から実行して【コミュニケーション力の向上】を実現する。

- (e) <最近は他の事業所の情報も余り入らなくなった(小作連の活動中止)>ということは「自ら動いて集めたものが生きた情報になる」が理由の一つと理解しつつ「通所者個々が通院している医療機関と連絡を取り合い利用状況を知ってもらうと同時に病状を把握する」ことで「病院からの情報収集可能性の検討」することを手始めに『情報収集の方策と検討』を実施して【情報受発信要領の整理と確立】を図る。

以上のコンセプトの関係を図示すると次のようになります。



4. 今後の展開

以上の結果から上述コンセプト及び重点課題について、リーダーとキーパーソン(KP)を決め、KPがメンバーの協力の下で添付するような計画書(添付4)と作業工程表(添付5)に展開し(その素材の大部

分は目標展開図の中に存在します)、着実に実行していくことにより設定したテーマ

**“ 利用者がやりがいを持って仕事のできる法人になるために
事業理念 / 事業企画 / 実行計画を作る ”**

の実現が可能になります。

以上

利用者が「やりがい」を持って仕事のできる法人になるために事業理念/事業企画/実行計画を作る

(L-0)

組織や事業の遂行体制の確立

(L-1)

自立・継続のための経営体質の改善

(L-1)

作業分析を通じて作業の分類と多様化を検討する

(L-2)

法人及び事業所の業務分掌の明確化

(L-2)

外部との連携・協働のしくみづくり

(L-2)

スタッフのスキルアップと人材の充実

(L-2)

新事業の創出

(L-2)

NPO法人&各事業所としての経営分析の実施(損益分岐点分析)

(L-2)

営業力の向上

(L-2)

利用者の適応能力に合わせた作業/業務の整理

(L-3)

作業者の適応能力の組合せによる新しい業務の形成

(L-3)

他事業所(法人)の例を参考ににする

(L-3)

2つの事業所間の及び各事業所内の業務分掌の整理と文書化

(L-3)

職親制度利活用の調査研究

(L-3)

NPO支援体制整備へのニーズをまとめて外部へアピール(提案・発信)

(L-3)

病院機能の利活用(ジョブコーチ)の検討

(L-3)

理事の家族の人を通して等。家族の協力も得たい

(L-3)

小さな事業所ではスタッフの異動もなし、研修の機会も乏しくスキルアップも難しい

(L-3)

日々の消費につながるものづくり(食品)が継続し易い

(L-3)

(特活)としての新しいチャレンジの検討(例)グループ未知: 講習会農産物づくり/エイティブハウス未知: ヌガ教室

(L-3)

事業には2つの種類 下請による仕事 自主事業(ベースとなる仕事と変動の生じる仕事)

(L-3)

通所人数アップにつながる事業の検討

(L-3)

B型事業所であるための要件の確認と検討

(L-3)

広報ツール(法人・事業の紹介資料)の整備

(L-3)

作業の内容を多様化し、それぞれ合った作業があれば

(L-4)

作業スタイル、中味が通所している方々に個人差がある

(L-4)

ストレスのかかる仕事は継続しにくいところがある

(L-4)

一つの製品を流れる作業で作れる様な仕組み

(L-4)

作業をチームで行う様にしているとの意見を他の事業所から頂いた

(L-4)

職親制度のしくみ図の作成、病院との連携を強化して通所数の増加へつなげる

(L-4)

地域において、当事者、家族を支える仕組み、家庭教室、相談支援事業を実施している

(L-4)

相談窓口での事業所紹介だけでなく、その後のフォローアップも必要である

(L-4)

NPOを抱えきれない問題などがあれば病院や相談支援事業所と連携をとる

(L-4)

理事の家族の人を通して等。家族の協力も得たい

(L-4)

小さな事業所ではスタッフの異動もなし、研修の機会も乏しくスキルアップも難しい

(L-4)

日々の消費につながるものづくり(食品)が継続し易い

(L-4)

(特活)としての新しいチャレンジの検討(例)グループ未知: 講習会農産物づくり/エイティブハウス未知: ヌガ教室

(L-4)

事業には2つの種類 下請による仕事 自主事業(ベースとなる仕事と変動の生じる仕事)

(L-4)

通所人数アップにつながる事業の検討

(L-4)

B型事業所であるための要件の確認と検討

(L-4)

広報ツール(法人・事業の紹介資料)の整備

(L-4)

作業の内容を多様化し、それぞれ合った作業があれば

(L-4)

作業スタイル、中味が通所している方々に個人差がある

(L-4)

ストレスのかかる仕事は継続しにくいところがある

(L-4)

一つの製品を流れる作業で作れる様な仕組み

(L-4)

作業をチームで行う様にしているとの意見を他の事業所から頂いた

(L-4)

職親制度のしくみ図の作成、病院との連携を強化して通所数の増加へつなげる

(L-4)

地域において、当事者、家族を支える仕組み、家庭教室、相談支援事業を実施している

(L-4)

相談窓口での事業所紹介だけでなく、その後のフォローアップも必要である

(L-4)

NPOを抱えきれない問題などがあれば病院や相談支援事業所と連携をとる

(L-4)

理事の家族の人を通して等。家族の協力も得たい

(L-4)

小さな事業所ではスタッフの異動もなし、研修の機会も乏しくスキルアップも難しい

(L-4)

日々の消費につながるものづくり(食品)が継続し易い

(L-4)

(特活)としての新しいチャレンジの検討(例)グループ未知: 講習会農産物づくり/エイティブハウス未知: ヌガ教室

(L-4)

事業には2つの種類 下請による仕事 自主事業(ベースとなる仕事と変動の生じる仕事)

(L-4)

通所人数アップにつながる事業の検討

(L-4)

B型事業所であるための要件の確認と検討

(L-4)

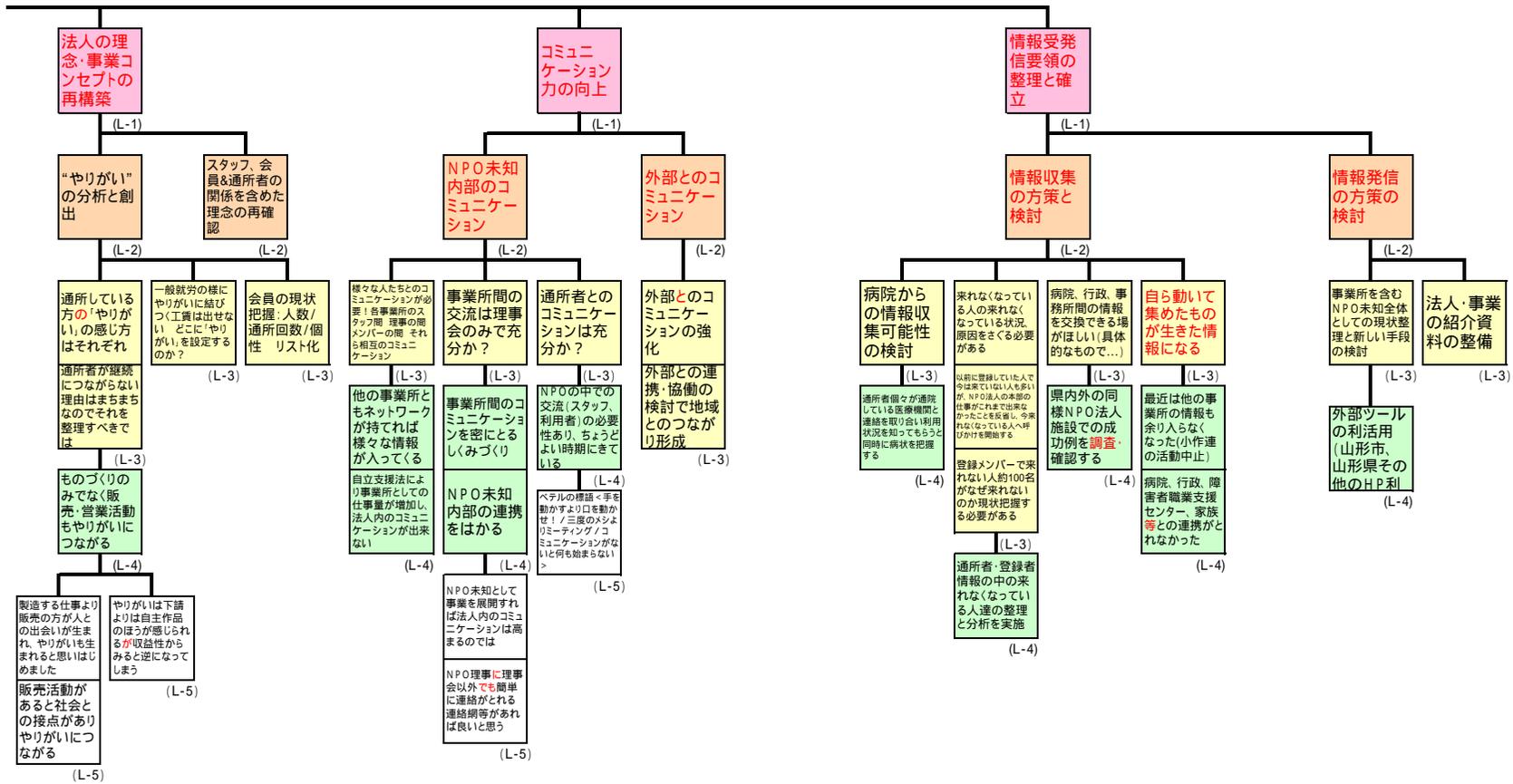
広報ツール(法人・事業の紹介資料)の整備

(L-4)

L-0	1
L-1	5
L-2	13
L-3	36
L-4	48
L-5	7
L-6	
計	110

朱書 : 表札ラベル(入力作業過程で講師作成)

ラベル内の一部分朱書は入力作業過程で講師修正



		S	K	T	T	N	T	M	K	H	S	F	S	T	O	単純平均	加重平均	順位
L-0	利用者が"やりがい"を持って仕事のできる法人になるために事業理念/事業企画/実行計画を作る																	
L-1	組織や事業の遂行体制の確立	3	2	3	1	3	1	3	3	0.23750								2
L-1	自立・継続のための経営体質の改善	1	2	3	2	3	5	3	3	0.27500								1
L-1	法人の理念・事業コンセプトの再構築	3	3	2	1	2	1	2	1	0.18750								3
L-1	コミュニケーション力の向上	2	2	1	2	1	2	1	1	0.15000								4
L-1	情報受発信要領の整理と確立	1	1	1	4	1	1	1	2	0.15000								4
L-1	組織や事業の遂行体制の確立																0.23750	
L-2	作業分析を通じて作業の分類と多様化を検討する	4	3	3	5	1	3	2	2	0.28750	0.06828							
L-2	法人及び事業所の業務分掌の明確化	4	5	5	2	7	6	3	2	0.42500	0.10094							
L-2	外部との連携・協働のしくみづくり	2	2	2	3	2	1	5	5	0.27500	0.06531							
L-1	自立・継続のための経営体質の改善																0.27500	
L-2	スタッフのスキルアップと人材の充実	3	4	2	3	1	2	1	2	0.22500	0.06188							
L-2	新事業の創出	2	3	4	3	7	2	4	2	0.33750	0.09281							
L-2	NPO法人&各事業所としての経営分析の実施(損益分岐点分析)	3	2	3	1	1	5	1	1	0.21250	0.05844							
L-2	営業力の向上	2	1	1	3	1	1	4	5	0.22500	0.06188							
L-1	法人の理念・事業コンセプトの再構築																0.18750	
L-2	"やりがい"の分析と創出	5	3	3	5	2	2	4	10	0.42500	0.07969							
L-2	スタッフ、会員&通所者の関係を含めた理念の再確認	5	7	7	5	8	8	6	0	0.57500	0.10781							
L-1	コミュニケーション力の向上																0.15000	
L-2	NPO未知内部のコミュニケーション	5	7	6	4	8	8	6	6	0.62500	0.09375							
L-2	外部とのコミュニケーション	5	3	4	6	2	2	4	4	0.37500	0.05625							
L-1	情報受発信要領の整理と確立																0.15000	
L-2	情報収集の方策と検討	5	7	6	7	8	7	7	7	0.67500	0.10125							
L-2	情報発信の方策の検討	5	3	4	3	2	3	3	3	0.32500	0.04875							
L-2	作業分析を通じて作業の分類と多様化を検討する																0.06828	
L-3	利用者の適応能力に合わせた作業/業務の整理	5	6	5	5	8	10	5	3	0.58750	0.04012							
L-3	作業者の適応能力の組合せによる新しい業務の形成	5	4	5	5	2	0	5	7	0.41250	0.02817							
L-2	法人及び事業所の業務分掌の明確化																0.10094	
L-3	他事業所(法人)の例を参考ににする	2	0	2	1	2	1	2	1	0.13750	0.01388							
L-3	2つの事業所間の及び各事業所内の役割分掌の整理と文書化	8	4	3	3	8	2	2	3	0.41250	0.04164							
L-3	仕事の業務分担を明確化する(スタッフも含む)	0	3	3	3	0	5	4	3	0.26250	0.02650							
L-3	職員スタッフの管理、職務の明確化をする(明文化)	0	3	2	3	0	2	4	2	0.20000	0.02019							
L-2	外部との連携・協働のしくみづくり																0.06531	
L-3	職親制度利活用の調査研究	2	1	0	2	1	1	1	5	0.16250	0.01061							
L-3	NPO支援体制整備へのニーズをまとめて外部へアピール(提案・発信)	4	2	4	5	2	7	8	2	0.42500	0.02776							
L-3	病院機能の利活用(ジョブコーチ)の検討	4	7	6	3	7	2	1	3	0.41250	0.02694							
L-2	スタッフのスキルアップと人材の充実																0.06188	
L-3	理事の家族の人を通してetc. 家族の方の協力も得たい	2	8	2	1	2	3	1	7	0.32500	0.02011							
L-3	小さな事業所ではスタッフの異動もなく、研修の機会も乏しくスキルアップも難しい	2	0	2	3	0	0	4	1	0.15000	0.00928							
L-3	仕事量の増加でスタッフは何でもしなくてはならない	2	0	0	3	0	0	4	1	0.12500	0.00773							
L-3	スタッフのスキルアップ(出来ることと出来ないことがあるが...)割合簡単に覚えられるものなら努力する	4	2	6	3	8	7	1	1	0.40000	0.02475							
L-2	新事業の創出																0.09281	
L-3	日々の消費につながるものづくり(食品)が継続し易い	4	5	3	0	1	3	2	2	0.25000	0.02320							
L-3	(特活)としての新しいチャレンジの検討(例)グループ未知:講習会農産物づくり クリエイティブハウス未知:ヨガ教室	2	2	3	0	6	1	3	0	0.21250	0.01972							
L-3	事業には2つの種類 下請による仕事 自主事業(ベースとなる仕事と変動の生じる仕事)	0	1	1	0	1	1	1	3	0.10000	0.00928							
L-3	通所人数アップにつながる事業の検討	4	2	3	10	2	5	4	5	0.43750	0.04061							
L-2	NPO法人&各事業所としての経営分析の実施(損益分岐点分析)																0.05844	
L-3	B型事業所であるための要件の確認と検討	10	10	10	10	10	10	10	10	1.00000	0.05844							
L-2	営業力の向上																0.06188	
L-3	広報ツール(法人・事業の紹介資料)の整備	10	10	10	10	10	10	10	10	1.00000	0.06188							
L-2	"やりがい"の分析と創出																0.07969	
L-3	通所している方の「やりがい」の感じ方はそれぞれ	2	1	3	2	2	0	1	5	0.20000	0.01594							
L-3	通所者が継続につながらない理由はまちまちなのでそれを整理すべきでは	2	1	0	3	1	0	4	5	0.20000	0.01594							
L-3	一般就労の様にやりがいに結びつく工賃は出せない どこに「やりがい」を設定するのか?	1	0	2	2	1	0	1	0	0.08750	0.00697							
L-3	会員の現状把握:人数/通所回数/個性 リスト化	5	8	5	3	6	10	4	0	0.51250	0.04084							
L-2	NPO未知内部のコミュニケーション																0.09375	
L-3	様々な人々とのコミュニケーションが必要!各事業所のスタッフ間 理事の間 メンバーの間 それら相互のコミュニケーション	6	4	2	5	1	10	4	2	0.42500	0.03984							
L-3	事業所間の交流は理事会のみで充分か?	2	3	6	2	5	0	2	5	0.31250	0.02930							
L-3	通所者とのコミュニケーションは充分か?	2	3	2	3	4	0	4	3	0.26250	0.02461							
L-2	外部とのコミュニケーション																0.05625	
L-3	外部とのコミュニケーションの強化	4	0	4	2	2	3	3	10	0.35000	0.01969							
L-3	外部との連携・協働の検討で地域とのつながり形成	6	10	6	8	8	7	7	0	0.65000	0.03656							
L-2	情報収集の方策と検討																0.10125	
L-3	病院からの情報収集可能性の検討	2	2	3	3	2	1	1	5	0.23750	0.02405							
L-3	来れなくなっている人の来れなくなっている状況、原因をさぐる必要がある	3	2	1	4	0	0	1	1	0.15000	0.01519							
L-3	以前に登録していた人で今は来ていない人も多いが、NPO法人の本部の仕事がこれまで出来なかったことを反省し、今来れなくなっている人へ呼びかけを開始する	0	2	1	0	1	1	1	0	0.07500	0.00759							
L-3	登録メンバーで来れない人約100名がなぜ来れないのか現状把握する必要がある	2	2	1	0	0	0	1	2	0.10000	0.01013							
L-3	病院、行政、事務所間の情報を交換できる場がほしい(具体的なもので...)	1	2	1	0	1	5	1	2	0.16250	0.01645							
L-3	自ら動いて集めたものが生きた情報になる	2	0	3	3	6	3	5	0	0.27500	0.02784							
L-2	情報発信の方策の検討																0.04875	
L-3	事業所を含むNPO未知全体としての現状整理と新しい手段の検討	2	8	6	5	8	7	9	5	0.62500	0.03047							
L-3	法人・事業の紹介資料の整備	8	2	4	5	2	3	1	5	0.37500	0.01828							

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
		単純平均	加重平均	加重平均	加重平均	
L-1	組織や事業の遂行体制の確立	0.23750				
L-2	法人及び事業所の業務分掌の明確化		0.10094			
L-3	2つの事業所間の及び各事業所内の役務分掌の整理と文書化			0.04164		
L-4	該当なし				—	
L-2	作業分析を通じて作業の分類と多様化を検討する		0.06828			
L-3	利用者の適応能力に合わせた作業/業務の整理			0.04012		
L-4	作業の内容を多様化し、それぞれ合った作業があれば				0.01203	
L-4	利用者の方の人間関係のある程度把握して、仕事の効率も良くなるよう配慮する				0.00953	
L-1	自立・継続のための経営体質の改善	0.27500				
L-2	新事業の創出		0.09281			
L-3	通所人数アップにつながる事業の検討			0.04061		
L-4	家族の環境の理解を深めて通所の継続維持を検討				0.02132	
L-3	日々の消費につながるものづくり(食品)が継続し易い			0.02320		
L-4	ボランティアの力を活用しながら収益をあげる方法(布ぞうり教室など)も効果がある				0.01450	
L-2	スタッフのスキルアップと人材の充実		0.06188			
L-3	スタッフのスキルアップ:(出来ることと出来ないことがあるが...)割合簡単に覚えられるものなら努力する			0.02475		
L-4	県・市町村の各種支援講座の活用				0.01238	
L-4	NPO向けの講習会等を利用しスタッフのスキルアップを計る				0.01238	
L-2	営業力の向上		0.06188			
L-3	広報ツール(法人・事業の紹介資料)の整備			0.06188		
L-4	該当なし				—	
L-1	法人の理念・事業コンセプトの再構築	0.18750				
L-2	スタッフ、会員&通所者の関係を含めた理念の再確認		0.10781			
L-3	該当なし			—		
L-2	“やりがい”の分析と創出		0.07969			
L-3	会員の現状把握:人数/通所回数/個性 リスト化			0.04084		
L-4	該当なし				—	
L-3	通所者が継続につながらない理由はまちまちなのでそれを整理すべきでは			0.01594		
L-4	ものづくりのみでなく販売・営業活動もやりがいにつながる				0.01594	
L-5	販売活動があると社会との接点がありやりがいにつながる					0.00757
L-1	コミュニケーション力の向上	0.15000				
L-2	NPO未知内部のコミュニケーション		0.09375			
L-3	様々な人たちとのコミュニケーションが必要!各事業所のスタッフ間 理事の間 メンバーの間 それら相互のコミュニケーション			0.03984		
L-4	他の事業所ともネットワークが持てれば様々な情報が入ってくる				0.02540	
L-1	情報受発信要領の整理と確立	0.15000				
L-2	情報収集の方策と検討		0.10125			
L-3	自ら動いて集めたものが生きた情報になる			0.02784		
L-4	最近では他の事業所の情報も余り入らなくなった(小作連の活動中止)				0.01462	
L-3	病院からの情報収集可能性の検討			0.02405		
L-4	通所者個々が通院している医療機関と連絡を取り合い利用状況を知ってもらおうと同時に 病状を把握する				0.02405	

重点課題実行計画書&重点課題作業工程表

<<『重点課題実行計画書&重点課題作業工程表』の扱いについて>>

1. WS参画者の担当化により作成された原案を基にPCデータ入力をしました。
その内容については講師がその構成においての修正を加えた部分もあります。
また、一部加筆修正(朱書)をしております。
2. 併せて、WSで参加者が手書き作成した原稿も添付します。
参加者は講師が加筆修正して調製した内容と比較することで、ブレインストーミング、
目標展開検討報告書、実行計画書、作業工程表という一連の計画作業<P>を
「P(目標・課題設定)・D(実施)・C(分析・フィードバック)・A(監視・是正措置)」という事業
サイクルの一環として体系的に把握できます。
今後とも講師のPCデータ化を参考に別途blankフォーム(PCデータ:市)事務局保有)
を使用して各担当者が担当部分のPCデータ化をされることを推奨します(そこまで実行
することによりその活用が図れます)。
3. 同時並行して、重点課題の一つにもピックアップされている事業の「新業務(事業)」「メニ
ュー」については、講師のチャンネルから外部関係機関などとの連携による新業務(事業
案として3事案を紹介しております。
その一つは年度内に「ミニチュアフィギュア教室」の開催という試みについてプレゼンテ
ーションが実施されます。

以上

個別テーマ計画書(添付4)

No	(a)
レベル - 1項目	組織や事業の遂行体制の確立
レベル - 2項目	業務分掌の明確化、作業の分類と多様化
テーマ名	1. 利用者の適応能力に合わせた作業/業務の整理 (2. 作業者の適応能力の組合せによる新しい業務の形成)
現状	1. 利用者の適応能力に合わせた作業/業務の整理 作業スタイル、中味が通所している方々に個人差があるのに作業内容が多様化していない ストレスのかかる仕事は継続しにくいところがある 作業に対してストレスの感じかたに個人差があるのに対応策が確立していない (2. 作業者の適応能力の組合せによる新しい業務の形成) 今後の検討課題
実現方法	1. 利用者の適応能力に合わせた作業/業務の整理 通所者の方の人間関係を把握・整理 仕事の効率も良くなるような配置・分担計画 <一例> 人間関係でつまずき通所できなくなる人もいるので、仕事の分担においてはペア制などの配慮を検討する 業務ごとの作業工程フロー図の作成 作業選定・組合せ要領の作成 スタッフ(&通所者)の業務分掌(業務種類・担当業務内容・担当責任者)の作成 (2. 作業者の適応能力の組合せによる新しい業務の形成) 今後の検討課題
KP&担当者	施設長、スタッフ、通所者
目標スケジュール	当面1ヵ年
概略予算	
成果品の姿	通所者情報(個性・能力)票 業務ごとの作業工程フロー図 個々の作業内容規定書 作業選定・組合せ要領書 スタッフ(&通所者)の業務分掌(業務種類・担当業務内容・担当責任者)書

個別テーマ計画書(添付4)

No	(b)
レベル - 1項目	自立・継続のための経営体質の改善
レベル - 2項目	新事業の創出
テーマ名	通所人数アップにつながる事業の検討
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている仕事がやりがいに繋がらないのではないか？ ・最初やりたくなかった仕事が行っているうちにやりがいを持った方もいる ・家族の協力を得られていないことも多い ・病院、クリニック等との連携体制がうまく取れていない ・情報の提供方法(受発信両面)があいまい ・事業所の紹介をうまくするため面接用のマニュアルのようなものが必要ではないか
実現方法	<p>「やりがい」とは何か考えてみる 作業所等で上手くいっている所の調査を通じて事例収集して活用 事業内容の検討・分析&成功の理由などの整理 病院(からの)紹介の流れの整理・分析・検討 改善の余地があれば病院との協議と提案の実施 「通所申込み」の分析 ・家族からの申込みと病院からの紹介の件数比較がどの程度か ・同様にどちらの方の継続性が高いかなどのデータ分析と改善策の立案 病院からの紹介の有り方、受け方両面の整理と検討 これまでの面接実施記録を調査・整理して改善策検討 新しい仕事、同じ仕事、両面の新メニューの情報収集や調査(ネットや本等)を実施してその検討と試行 収益につながり継続ができ自分達に合った仕事(&メニュー)実現の手順書・容量書の作成 <メニュー(教室)の基準例> 通所者の興味/一般人の参加の可能性/実費ボラ程度で協力できる講師の有無/製作品の市場性 既存事業の見直し(良かった点、悪かった点、改善アイデアなど)とその記録作成</p>
KP&担当者	佐藤、その他スタッフ、通所者
目標スケジュール	当面1ヵ年
概略予算	
成果品の姿	<p>「やりがい」についてのグループ未知とクリエイティブハウス未知の検討報告書 作業所等で上手くいっている所の調査書 病院(からの)紹介の流れの整理・分析・検討書 「通所申込み」の分析・検討書 病院からの紹介の有り方、受け方についての改善提案書 これまでの面接実施記録の調査・整理に基づく改善策検討書 新しい仕事、同じ仕事、両面の新メニューの情報収集や調査(ネットや本等)報告 収益につながり継続ができ自分達に合った仕事(&メニュー)実現の手順書・容量書 既存事業の見直し(良かった点、悪かった点、改善アイデアなど)とその記録書</p>

個別テーマ計画書(添付4)

No	(c)
レベル - 1項目	法人の理念・事業コンセプトの再構築
レベル - 2項目	“やりがい”の分析と創出
テーマ名	会員の現状把握と会員の通所が継続につながらない理由<やりがいの欠如?>の整理・分析と対策立案
現状	グループ未知&クリエイティブハウス未知として: 家族との関係が上手く作れない(家族と本人の関係が捉えきれない) ストレスのかかる仕事は継続しにくいところがある 作業に対してストレスの感じかたに個人差があるのに対応策が確立していない 通所者のニーズ、目的の把握(個性、好みも含めて)が不十分
実現方法	通所者の現状把握調査(人数・通所回数等の実績・個性)の実施 リスト化 「通所者が事業所に何を求めているか」の調査・分析と対策立案 ものづくり以外の作業(販売・営業活動など)のやりがい度の調査と分析 <一例> ・製造する仕事より販売の方が人との出会いが生まれ、やりがいも生まれると思いはじめました ・やりがいは下請よりは自主作品のほうが感じられるが収益性からみると逆になってしまう ・販売活動があると社会との接点がありやりがいにつながる 上記 ~ 結果を基にしたNPO未知としての<やりがい>の 理念 を纏める 収集、創出された<やりがい>の日常の業務管理要領書への反映
KP&担当者	サービス管理責任者及びゼンスタッフ
目標スケジュール	当面1ヵ年 3ヶ月毎の見直し
概略予算	
成果品の姿	通所者(両親を含む)情報(ニーズ、個性、好みなど)リスト 同上分析、対策案 ものづくり以外の作業(販売・営業活動など)のやりがい度のある新業務企画書 NPO未知としての<やりがい>に対する 理念 の定義 新業務管理要領書 NPO法人未知の事業紹介資料

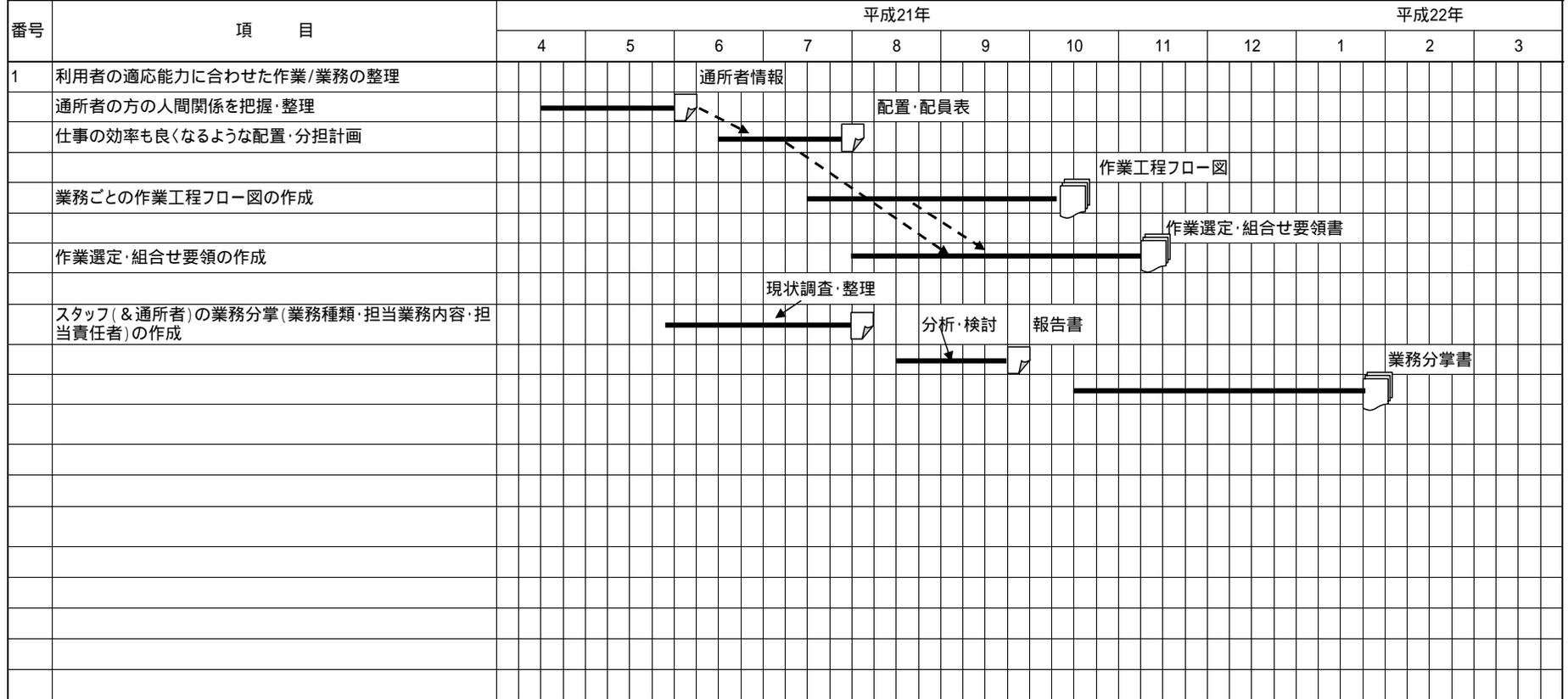
JOBコード - - - -

作業工程表

DOC. No.

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称			改訂	日付	摘要	作成	検討	承認
山形市生活福祉課 「福祉的就労のモデルづくり」分科会 <利用者が“やりがい”を持って仕事ができる法人になるために 事業理念 / 事業企画 / 実行計画を作る>	< a > L-1「組織や事業の遂行体制の確立」 L-2「業務分掌の明確化、作業の分類と多様化」 L-3「利用者の適応能力に合わせた作業 / 業務の整理」	納期		0	2009/3/18	初発行	施設長	-	黒沼



備考	: 新メニューの教室など	承認	検討	作成
		黒沼	-	施設長

配付先																			
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

JOBコード - - - -

作業工程表

DOC.No.

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称	納期	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認					
			0	2009/3/18	初発行	佐藤	-	黒沼					
山形市生活福祉課 「福祉的就労のモデルづくり」分科会 <利用者が“やりがい”を持って仕事ができる法人になるために 事業理念/事業企画/実行計画を作る>	 L-1「自立・継続のための経営体質の改善」 L-2「新事業の創出」 L-3「通所人数アップにつながる事業の検討」												
番号	項目	平成21年						平成22年					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	やりがいの検討 事業所内外の事例調査												
2	調査結果を基にした検討 (<C>グループとの協働作業)												
3	通所申込みの「しくみ」の検討 病院からの紹介 / 現状の通所申込み要領の見直し /												
4	これまでの面接実施記録の調査・整理に基づく改善策検討												
5	新しい仕事、既存の仕事、両面の新メニューの情報収集や調査(ネットや本等)												
6	収益に不向き継続ができて自力で合った仕事(メニュー)実現に向けた検討 (3/27プラン)												
7	既存事業(陶芸・さおり織・クッキー・草木染め…)の見直し												
備考	新事業の教室など							承認	検討	作成			
								黒沼	-	佐藤			
配付先													

JOBコード - - - -

作業工程表

DOC.No.

____年 ____月 ____日 作成 頁 ____

御注文先	プロジェクト名称	納期	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認						
山形市生活福祉課 「福祉的就労のモデルづくり」分科会 <利用者が「やりがい」を持って仕事ができる法人になるために 事業理念 / 事業企画 / 実行計画を作る>	<c> L-1「法人の理念・事業コンセプトの再構築」 L-2「「やりがい」の分析と創出」 L-3「会員の現状把握と継続につながらない理由の整理・対策の立案」	納期	0	2009/3/18	初発行	施設長	-	黒沼						
番号	項目	平成21年					平成22年							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	通所者の現状把握調査(人数・通所回数等の実績・個性)の実施 リスト化													
2	ものづくり以外の作業(販売・営業活動など)のやりがい度の調査と分析													
3	NPO未知としての<やりがい>の 理念 を纏める													
4	<やりがい>を反映した業務管理要領への反映													
5	NPO法人未知の事業紹介資料													
備考	:新メニューの教室など	承認	検討	作成										
		黒沼	-	施設長										
配付先														